

平成29年度事業報告書

I 基本方針（基本理念の実現に向けて）

森林の中で自然との共生を学び、体験し、様々な形で森林とふれあうライフ・スタイルを創出するフォレスト・エコ・ライフの推進を図り「自然との共生」思想の普及を基本とし、「ふくしま県民の森ならではの」の特色ある利用形態等を全国に向け発信し、福島県の復興が更に前に進むための一助となるべく各種事業の積極的な展開に努めた。

指定管理者となっている「ふくしま県民の森」を舞台に、森林の利活用促進を目的とする事業に取り組み、利用満足度の向上と効率的な業務執行に努めるとともに、利用者の安全・安心を確保するため、大型野生動物の侵入対策を強化した。

個別的には、次世代を担う子どもたちの心身の健やかな発育を促すため、引き続き「子ども自然あそび事業」を県から受託し、「ふくしま県民の森ならではの」のプログラムを実施した。

また、オートキャンプ場開設から20年目を迎えることから、「春のフルオープン記念イベント」をはじめとし、利用促進を図るための具体的なイベントに一年を通して取り組み、節目の年度にふさわしい事業展開を図った。

さらに、平成30年に福島県で開催される「第69回全国植樹祭」サテライト会場の広報に関し、地元自治体や事業所と一体となって広報活動に取り組んだ。

II 指定管理者としての「ふくしま県民の森」の管理運営

東京電力福島第一原子力発電所事故の影響について、引き続き施設内の空間線量の定期的な測定と正確な情報提供を行い、利用者等の信頼確保に努めた。

また、県内外の様々な組織、機関等と連携し、「ふくしま県民の森」の利用者の増加につながる事業を実施するとともに、「ふくしま県民の森」利用者の満足度を高めるような施設整備に努め、森林での楽しみ方、森林の学び方などをサポートするプログラムや情報の提供を行い、インターネットの活用に関しても、新たにドローンによる施設の動画情報の提供を開始し、さらに、オートキャンプ場の予約に関していわゆるネット予約の契約先を変更するとともに、利用予約の開始時期を1か月前倒しするなど改善を図った。

1 県委託料による施設・緑地管理

(1) 施設の高規格化、老朽化等への対応

ビジターセンター（昇降設備修繕、ボイラー設備修繕、温泉設備修繕、火災感知器修繕、排煙窓修繕）

コテージ（浴室窓修繕、防蟻処理、漏水等木部修繕）

常設トレーラー（窓修繕、消火器交換）

テントサイト等（サテライトハウス給湯設備修繕、トイレ修繕、野外テーブル修繕、遊歩道木部修繕）

森林学習施設区域（トイレ照明設備修繕、遊歩道修繕）

(2) 利用者の安全確保の対応

大型野生動物（ツキノワグマ、イノシシ）対策のための森林下層木の伐採、電気柵増設

(3) その他

施設管理用機材修繕

2 オートキャンプ場利用料金による施設管理

(1) 施設の高規格化、老朽化等への対応

ビジターセンター（トイレ修繕、照明設備修繕、サウナ設備修繕、浴室修繕）

コテージ（窓修繕、トイレ修繕、給排水設備修繕、建具等修繕）

常設トレーラー（トイレ修繕、窓修繕、照明設備更新、暖房・給湯設備修繕、空調設備修繕）

テントサイト等（サテライトハウス給湯設備修繕、サテライトハウス排水設備修繕）

(2) 利用者の安全確保の対応

大型野生動物（ツキノワグマ、イノシシ）対策調査、電気柵増設、動物追払用花火整備

3 フォレスト・エコ・ライフ推進の事業

[平成28・29年度の目標値は財団中長期計画（平成25年8月策定）による。 基準平成22年度]

(1) 森林学習施設区域の運営

森林学習施設区域における森林学習等の利用は、当財団と協同して活動をいただいているNPO法人福島県もりの案内人の会の啓発活動により、学校や団体利用に関しては相当程度の実績があったが、全体としては、前年度実績をも下回る結果となった。

平成29年度は、最も多くの利用が見込める第2・第3四半期において、夏休み期間中は雨天の日が例年以上に多かったこと、9月や10月についても、三連休や週末のたびに雨にたたられたこと、また、第4四半期はかなりの積雪量となり、野外活動には適さない自然条件が重なったことなど、それぞれの季節において屋外で余暇を楽しみたいという意識が削がれるような気象状況が続き、利用実績をあげることができなかった。

ア 森林学習施設区域全体の利用者数

(単位；人)

年 度	区 分	目 標 値	実 績	達成率 (実績/目標値)
平成22年度	基 準 年	174,400	158,433	90.8%
平成28年度	前 年 度	47,500	13,135	27.7%
平成29年度	当 年 度	63,400	11,468	18.1%

イ 森林館の利用者数

(単位；人)

年 度	区 分	目 標 値	実 績	達成率 (実績/目標値)
平成 22 年度	基 準 年	12,180	12,792	105.0%
平成 28 年度	前 年 度	5,200	2,623	50.4%
平成 29 年度	当 年 度	6,100	2,665	43.7%

ウ 学校・団体利用者数

(単位；人)

年 度	区 分	目 標 値	実 績	達成率 (実績/目標値)
平成 22 年度	基 準 年	7,780	10,353	133.1%
平成 28 年度	前 年 度	4,500	5,683	126.3%
平成 29 年度	当 年 度	4,800	4,708	98.1%

(2) オートキャンプ場の運営

オートキャンプ場については、利用サイト数、利用者数及び温泉利用者数のすべてにおいて、平成22年度に策定した財団中長期計画の目標をクリアできているが、利用サイト数の実績を除き前年度実績には届いていない。

森林学習施設区域と同様、平成29年度は年間を通して悪天候の影響を受け、秋口までの利用実績は前年度の90%程度までに落ち込んだが、11月からは利用が回復に転じ、特に第4四半期は、中長期計画策定以降では最も多くの利用実績をあげることができた。

冬季間のオートキャンプ場区域の施設管理に関しては、除雪やサイトメンテナンスをしっかりと行い、安全・安心な施設の提供に努めていることが利用者にも十分理解されているものとする。

また、「子ども自然あそび事業」や「森林文化公開体験事業」などの受託事業を活用して「ファミリーキャンプ」や「もりの冒険隊」といった自然観察を効果的に展開するとともに、オートキャンプ場開設20年に合わせた「ウィンターフェスティバル」の開催により利用促進対策に取り組んだ成果であると思われる。

しかし、悪天候により利用者数が確保できなかったとはいえ、トップシーズンの利用実績が伸びない現象は震災以降の継続課題であり、今後の利用促進対策強化が必要である。

ア オートキャンプ場利用サイト数 (コテージ・常設トレーラー・テントサイト合計)

年 度	区 分	実 績	基準年との比較
平成 22 年度	基 準 年	7,910	—
平成 28 年度	前 年 度	8,218	103.9%
平成 29 年度	当 年 度	8,244	104.2%

イ オートキャンプ場利用者数（料金対象外の幼児を除く）（単位；人）

年 度	区 分	目 標 値	実 績	達成率（実績／目標値）
平成 22 年度	基 準 年	32,650	29,241	89.6%
平成 28 年度	前 年 度	27,800	30,139	108.4%
平成 29 年度	当 年 度	29,300	29,383	100.3%

ウ 温泉施設の利用者（単位；人）

年 度	区 分	目 標 値	実 績	達成率（実績／目標値）
平成 22 年度	基 準 年	14,330	11,683	81.5%
平成 28 年度	前 年 度	13,700	13,977	102.0%
平成 29 年度	当 年 度	13,800	13,860	100.4%

オートキャンプ場利用収入（温泉利用収入を含む）は、前年度実績には若干及ばなかったものの、財団中長期計画の基準年度である平成 22 年度と比較すると 114.3%となり、オートキャンプブームは継続していると判断することができる。

エ オートキャンプ場利用収入（消費税含む）（単位；千円）

年 度	区 分	収 入 額	基準年との比較
平成 22 年度	基 準 年	71,029	—
平成 28 年度	前 年 度	82,156	115.7%
平成 29 年度	当 年 度	81,184	114.3%

※ 収入には温泉利用収入を含む

財団が主催するイベントプログラムへの参加は、県からの受託事業である「子ども自然あそび事業」や「森林文化公開体験事業」に取り組んだことや、トップシーズンのイベントが天候不良等により中止となったイベントがあったことから、回数・人数ともに前年度より減少した。

なお、風評被害にかかる営業損失について、東京電力より損害賠償金として受け入れた。

オ イベントプログラムの実施

年 度	区 分	実 績（人）	実施回数（回）
平成 22 年度	基 準 年	6,643	289
平成 28 年度	前 年 度	2,292	205
平成 29 年度	当 年 度	2,244	168

※ 「子ども自然あそび事業」及び「森林文化公開体験事業」の参加者等は除く。

Ⅲ 受託事業の実施

1 もりの案内人養成講座運営業務

- (1) 委託者 福島県（農林水産部森林保全課）
- (2) 実施期間 平成29年5月23日～平成30年3月9日
- (3) 実施内容 福島県が募集し、選定した受講生17名（新規11名＋継続6名）を対象に、5期15日間の講座を開催、運営した。うち13名が修了。

第1期；平成29年6月16日～18日

第2期；平成29年7月7日～9日

第3期；平成29年9月22日～24日

第4期；平成29年11月10日～12日

第5期；平成30年1月12日～14日

財団スタッフは、講座運営のほか5教科の講師を勤めた。

2 森林ボランティアサポートセンター開設業務

- (1) 委託者 福島県（農林水産部森林保全課）
- (2) 実施期間 平成29年4月1日～平成30年3月31日
- (3) 実施内容 学校や幼稚園などの教育機関や子ども会などの団体からの依頼を受け、NPO法人福島県もりの案内人の会などへの講師派遣要請を行った。

また、ホームページを運用し、情報の提供を行うとともに、企業や森林ボランティア団体などの活動状況を取材し、森林づくり情報誌（森ボラ新聞）を発行した。

さらに、電話、来訪者、FAX、メールによる各種相談対応や森林ボランティア活動に必要とされる機材（ヘルメットなど）の貸出を行うとともに、新たに、森林ボランティアとして活動するために必要な森林整備の知識や技術、安全な作業方法を身につけるための研修会を実施した。

それぞれの実績は下表のとおりである。

年 度	区 分	ホームページ 閲 覧 件 数	森林整備道具 貸 出 件 数	指 導 者 要 請 依 頼 件 数
平成22年度	基 準 年	45,517	20	71
平成28年度	前 年 度	144,509	13	55
平成29年度	当 年 度	143,587	17	41

3 森林ボランティアリーダー育成事業

- (1) 委託者 福島県（農林水産部森林保全課）
- (2) 実施期間 平成29年9月11日～平成29年12月8日

- (3) 実施内容 森林整備に関する知識と技術・森林整備の安全確保に関する知識を備えた森林整備ボランティアの核となる「森林ボランティアリーダー」を育成する講座。
福島県が募集した12名が受講、うち9名修了。
救急救命法の講習（10月2日 フォレストパークあだたら）
林業機械の講習（刈払機；10月4日、チェーンソー；10月26～27日、福島空港公園緑のスポーツエリア）
森林づくり講習会（10月30～10月31日 フォレストパークあだたら）

4 森林文化公開体験事業

- (1) 委託者 福島県（農林水産部森林計画課）
(2) 実施期間 平成29年6月6日～平成30年3月16日
(3) 実施内容 県内各地に根ざす森林文化の現況を把握し未来へ継承するため、有識者による検討委員会での検討をもとに「森林文化記録映像」を制作し、また、「杉の森林文化」をテーマとした県内の森林文化を学び体験するプログラムを実施した。

ア ビデオ制作

内容 いわき市で、杉材を使った桶づくりの文化継承に取り組む者等、ビデオを2本制作した。

イ 公開体験

- ① パネル等展示 テーマ 「杉を知る」
期 間 平成29年8月1日～8月27日
内 容 実物と写真パネル展示
- ② 杉のアロマでディフューザー作り
期 日 平成29年8月19日
参加者 25人（子ども 13人 大人 12人）
- ③ 杉材のイス作り
期 日 平成29年8月7日～9日、8月16日～18日
参加者 163人（子ども 93人 大人 70人）
- ④ 杉伐倒見学・チェーンソーアートと加工体験
期 日 平成29年10月29日
参加者 137人（子ども 52人 大人 85人）

5 子ども自然あそび事業

- (1) 委託者 福島県（こども未来局こども・青少年政策課）
(2) 実施期間 平成29年4月3日～平成30年3月31日
(3) 実施内容 子どもの心身の健やかな発育を促す外遊びや自然ふれあい体験の重要性が改めて見直されていることを踏まえ、未就学児等を対象として自由遊び自然体験

を行うため、季節ごとにプログラムを計画・実施した。

ア イベント回数 30回

イ 参加者数 1,026人(子ども 520人 大人 506人)

IV 自主事業の実施

1 環境教育事業

(1) 青少年向け環境教育事業

あだたら生物クラブ

実施日；平成29年9月23日 参加者；9名

主催；NPO法人わかば自然楽校、福島市小島の森、
(公財)ふくしまフォレスト・エコ・ライフ財団

実施場所；ふくしま県民の森 フォレストパークあだたら

(2) 災害対応キャンプ普及事業

① 事業名；災害対応キャンププログラム (千葉県匝瑳市立八日市場第二中学校)

実施日；平成29年5月17日

参加者；148名 (引率教師10名 生徒138名)

主催；千葉県匝瑳市立八日市場第二中学校

共催；(公財)ふくしまフォレスト・エコ・ライフ財団

協力；福島県キャンプ協会、日本赤十字社福島県支部、安達地方広域行政組合

実施場所；ふくしま県民の森 フォレストパークあだたら

② 事業名；災害対応キャンプ(防災リーダー育成プログラム)

実施日；平成29年8月21日～22日

参加者；35名

主催；福島大学うつくしまふくしま未来支援センター

「防災リーダー育成プロジェクト」運営委員会

後援；伊達市教育委員会、日本赤十字社福島県支部

実施場所；ふくしま県民の森 フォレストパークあだたら

③ 事業名；災害対応キャンプ(福島学プログラム)

実施日；平成29年9月2日

参加者；14名

主催；NPO法人福島学グローバルネットワーク

後援；(公財)ふくしまフォレスト・エコ・ライフ財団

日本赤十字社福島県支部、福島県キャンプ協会、福島県教育委員会

大玉村教育委員会、福島県中学校長会

実施場所；ふくしま県民の森 フォレストパークあだたら

④ 事業名；災害対応キャンプ（防災リーダー育成プログラム）

実施日；平成29年11月4日～5日

参加者；66名

主催；福島大学うつくしまふくしま未来支援センター

「防災リーダー育成プロジェクト」運営委員会

後援；伊達市教育委員会、日本赤十字社福島県支部

実施場所；伊達市立伊達中学校

ふくしま県民の森 フォレストパークあだたら

(3) 森林保全推進事業

① うつくしま21森林づくりネットワーク（事務局引受け）

ネットワーク総会開催 平成29年4月21日（会場；フォレストパークあだたら）

第1回検討会開催 平成29年7月14日（会場；フォレストパークあだたら）

森林づくり活動発表交流会 平成29年9月30日～10月1日（会場；会津若松市）

第2回検討会開催 平成30年3月19日（会場；フォレストパークあだたら）

② ふくしま森林・山村多面的機能発揮対策協議会（事務局引受け）

事業説明会 平成29年4月14日（会場；フォレストパークあだたら）

第1回総会 平成29年5月16日（会場；フォレストパークあだたら）

第2回総会 平成30年3月23日（会場；フォレストパークあだたら）

③ 森林・林業関連委員会等への出席

第69回全国植樹祭サテライト会場検討会 平成29年4月26日（会場；フォレストパークあだたら）

福島県森林組合連合会第66回総会 平成29年5月26日（会場；福島市）

第69回全国植樹祭福島県実行委員会総会 平成29年6月6日（会場；福島市）

福島県森林・林業・緑化協会通常総会 平成29年6月9日（会場；福島市）

第69回全国植樹祭専門委員会 平成29年6月15日（会場；福島市）

福島県林業会議通常総会 平成29年6月23日（会場；福島市）

第69回全国植樹祭サテライト会場検討会 平成29年7月26日（会場；フォレストパークあだたら）

第68回学校関係緑化コンクール審査委員会 平成29年10月6日（会場；福島市）

福島県林業コンクール等表彰式 平成29年10月21日（会場；郡山市）

第15回うつくしま育樹祭 平成29年11月11日（会場；南相馬市）

第69回全国植樹祭専門委員会 平成29年11月28日（会場；福島市）

第69回全国植樹祭福島県実行委員会総会 平成30年1月22日（会場；福島市）

森林・山村多面的機能発揮対策全国連絡会議 平成30年2月13日（会場；東京都）

(4) 福島県の森林再生に向けた取り組み

- ① 福島県が設置した「木質チップボイラー」の適切かつ効果的な運用を確立するため、関係機関と連携して、安定的に利用できる良質な木質チップの確保に努めるとともに、導入を検討する機関の視察受入を行った。
- ② 福島県内の森林ボランティア団体を支援するため、「うつくしま21森林づくりネットワーク」及び「森林・山村多面的機能発揮対策交付金事業」の福島県事務局を引き受けた。(再掲)

(5) 植樹緑化事業

サクラ植栽事業(平成26年度まで実施)で植栽したサクラの適切な管理を行うため、除草等の維持管理を行った。

(6) 講師等派遣事業

- ① 岳温泉観光協会講演
実施日；平成29年6月25日
主 催；岳温泉観光協会
実施場所；岳温泉周辺
発表者；常務理事 弦間一郎
- ② 福島県キャンプ協会設立35周年記念行事講演
実施日；平成29年10月25日
主 催；福島県キャンプ協会
実施場所；フォレストパークあだたら
発表者；常務理事 弦間一郎
- ③ 環境アドバイザー講演
実施日；平成29年11月6日
主 催；会津若松市環境フェスティバル実行委員会
実施場所；会津若松市
発表者；常務理事 弦間一郎
- ④ 環境アドバイザー講演
実施日；平成29年11月22日
主 催；里山ふれんず
実施場所；福島市
発表者；常務理事 弦間一郎
- ⑤ 第69回全国植樹祭100日前記念イベント
実施日；平成30年2月24日
主 催；第69回全国植樹祭福島県実行委員会

実施場所；二本松市

発表者；常務理事 弦間一郎（コーディネーター）

2 調査・研究事業 「自然環境基礎調査事業 ふくしま生きもの調査発表会」

実施日；平成29年10月1日

主催；(公財) ふくしまフォレスト・エコ・ライフ財団

実施場所；フォレストパークあだたら レクチャーホール

内容；福島大学共生システム理工学類研究生他による研究成果発表会

参加者数；36名

3 20周年記念事業

平成30年に、ふくしま県民の森「フォレストパークあだたら」オートキャンプ場が開設20周年を迎えることから、利用者への感謝を表すとともにさらなる利用促進に努めた。

(1) 春のフルオープン記念イベント

実施日 平成29年4月22日（土）～23日（日）

参加者 51組 162名

(2) キャンプ推進月間

実施期間 平成29年7月17日（月）～8月27日（日）

実施内容 FELメンバーズに登録されている者を対象に、コテージ及び常設トレーラー利用を除き、FELメンバーズ感謝割引料金で提供した。（期間中の土曜日、8月11日（金）～8月15日（火）の泊は除外）

4 全国植樹祭開催記念事業

平成30年に開催される第69回全国植樹祭のサテライト会場となるふくしま県民の森と地元関係機関が連携して「大玉村周遊スタンプラリー」を実施し、機運の醸成に努めた。

実施期間 平成29年7月15日（土）～8月31日（木）

実施内容 ふくしま県民の森「フォレストパークあだたら」と大玉村内10の事業所等が連携し、村内4か所を周遊するスタンプラリーを行い、達成者に対し記念品を贈呈した。

達成者数 40名

5 物品販売・貸付・カフェ事業

3事業とも中長期計画の基準年である平成22年度を上回る実績となっているが、ショップ及びカフェにおいては大きな団体利用がなかったこと、物品貸付においてはファミリーキャンプなどにおいて利用者のレンタルが減少したことなどにより、前年度実績までは及ばなかった。

事業収入（消費税を含む）

（単位；千円）

年 度	区 分	ショップ売上 (物品販売)	カフェ売上	物 品 貸 付
平成 22 年度	基 準 年	11,121	2,269	2,098
平成 28 年度	前 年 度	12,247	2,374	3,158
平成 29 年度	当 年 度	11,535	2,336	2,894

6 F E L 制度事業

F E L メンバーズ感謝祭の実施やメンバーズ登録による特典に対する理解が深まり、前年度より 245 名多い 1,195 名の登録があり、財団中長期計画の基準年度を上回ることができた。

今後、メンバー登録による特典をさらに充実するなどして、本制度のさらなる普及を図る。

新規登録及び更新の人数

（単位；人）

年 度	区 分	登 録 者 数	基準年との比較
平成 22 年度	基 準 年	1,063	—
平成 28 年度	前 年 度	950	89.4%
平成 29 年度	当 年 度	1,195	112.4%

7 地域振興と社会貢献事業

(1) 地域振興

① 授産施設支援

ビジターセンター ショップ等における県内授産施設製品の販売

② 地場製品の販売促進

農産物を中心とした地元製品の販売、地元食材等の紹介、活用

(2) 社会貢献

① 教員研修受入

大玉村立大山幼稚園（主任教諭 1 名 平成 29 年 8 月 2 日）

② 職場体験事業受入

ア 大玉村立大玉中学校（生徒 2 名 平成 29 年 7 月 11 日）

イ 福島県立二本松工業高等学校（生徒 2 名 平成 29 年 9 月 5 日～7 日）

(3) 平成 29 年度学校教育利用割引

フォレストパークあだたらオートキャンプ場利用者に対する財団独自の割引

・学校教育利用割引率 50%

(4) 仮設住宅避難者への温泉無料提供

大玉村にある仮設住宅や借上げ住宅に居住する避難者を対象として、8月と1月及び3月を除く毎月1回、フォレストパークあだたら温泉の無料提供を行った。

・利用者数 延べ 97名

(5) 復興支援事業・イベントなどの開催、共催

① 大玉村社会福祉協議会との共催

カメラ教室の開催：平成29年10月27日（ふくしま県民の森）

(6) キッズプレイス開設・提供（ビジターセンター レクチャーホール 通年）